

# 以上・以下

「5歳以上のお子さんはお母さんと手をつないで、5歳以下のお子さんはおんぶされても結構です。スタートラインにお並びください」と某小学校の運動会で、案内がありました。▼「親子競争」の開始です。会場のおちこちで混乱が起きました。丁度5歳の子どもは手をつないで走るのか、おんぶしてもいいのかという困惑です。▼「以上・以下」という表現では、基準になった数字が含まれますから、この場合、「5歳」は手をつなぐ方にもおんぶする方にもどちらにも入ることになります。正確には「6歳以上のお子さんはお母さん

んと手をつないで、5歳以下のお子さんはおんぶされても結構です」というべきでした。▼それでは基準とする数量を含まない場合かどうか。▼「以上」に对应する「超える」、「以下」に对应する「未滿」があります。「1万円を超える」といえば、1万円という基準値を含まず、それよりも少しでも多い金額をいいます。▼「未滿」は未だ滿たずですから、一定の基準に達しない数量をさし、基準数量を含まません。▼「以上・以下」は「以て上がる、下がる」だから基準となる数量を含む。「超える」は「飛び越える」、「未滿」は「まだ滿たない」から基準となる数量を含まないと覚えておくとういでしょう。

- ◎使える大和言葉6  
 (おもてなし)
- ①箸(はし) ②お暇(いとま) ③おすそ分け(説明)
- ①和食の小鉢や小皿に少量盛りつけたつまみもの。主な料理の合間に別のおかずに手をつけ箸を休めること。「ちよつとつまみものに如何ですか」↓「ちよつと箸休めに如何ですか」
- ②帰る意。休暇や別れを意味する。「暇」の丁寧語。「そろそろ帰ります」↓「そろそろお暇します」帰るより柔らかく感じられます。
- ③余りものの意。着物の裾(つまらないもの)を意味する。裾分(すそわけ)の丁寧語。「余りものですがよろしければどうぞ」↓「お裾分けです。よろしければどうぞ」